

令和7年5月 教育委員会定例会議事録

- | | | | |
|----------|------------------|---------|-----|
| 1. 日 時 | 令和7年5月27日（火） | 午後1時00分 | 開会 |
| | | 午後1時55分 | 閉会 |
| 2. 件 名 | 河南町教育委員会定例会 | | |
| 3. 開催場所 | 河南町役場 庁舎4階 大会議室北 | | |
| 4. 出席委員 | 教 育 長 | 中川 | 修 |
| | 教育長職務代理者 | 西川 | 幹雄 |
| | 委 員 | 藤原 | 充 |
| | 委 員 | 杉田 | みはる |
| 5. 事務局職員 | 教・育部長 | 和田 | 信一 |
| | 教・育部理事兼指導主事 | 城者 | 貴典 |
| | 教・育部副理事兼指導主事 | 柏木 | 俊介 |
| | 教育課長 | 藤井 | 康裕 |
| | 教・育部副理事兼こども1ばん課長 | 渡辺 | 恵子 |
| | 生涯まなぶ課長 | 木矢 | 哲也 |
| | 給食センター所長 | 浅井 | 明郎 |

(審議内容)

教育長	<p>先日東京で全国の町村教育長会の総会に出席して、様々な情報交換をしてきました。すごいなと思ったのは、全国に行くといろんな規模の学校があって、いろんな規模の教育委員会がありますが、少子高齢化、或いはグローバル化、教員の働き方改革、中学校の部活動の地域移行などの話題は、どこの地方でもどんな規模の学校でも共通していました。しかしながら、その工夫のあり方に大きな違いがあるし、違いがあるがゆえに、参考になる部分もたくさんあり、有意義な時間を過ごすことができました。河南町に生かしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは5月の教育委員会定例会を開催します。</p> <p>まず、はじめに本日の定例会の傍聴につきまして、その申し出はございませんでした。そのことをまずはご報告いたします。</p> <p>次に本日の出席者は4名です。定足数を満たしておりますことをご報告いたします。次に会議録署名委員は、河南町教育委員会会議規則第17条の規定により、西川委員に決定してよろしいでしょうか。</p>
全員	異議なし
教育長	<p>ご異議ないようですので、会議録署名委員は、西川委員に決定いたしました。本日は案件がありませんので、諸報告その他に進めさせていただきます。</p> <p>まず「(1) 教員の働き方改革について」、事務局の説明を求めます。</p>

事務局	<p>「(1) 教員の働き方改革について」、資料に基づき説明。</p>
教育長	<p>今の事務局の説明を受けてでも構いませんし、この教員の働き方改革そのものに向けての、例えば今ご自身でお考えなっていることであるとか、こういう場で交流しておきたいなというようなことがあれば、と思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>この資料1の一番下の教員の勤務時間ということで、小学校は8時半から5時、中学校は8時20分から4時50分までと規定されているのですか。これが守られているのかという非常に大きな疑問があると思います。</p> <p>私の知り合いで、小学校に勤務する人がいて、この4月から新任の教員なのですが、午前様で帰ってくる。それがたまにはでなくて結構あるのです。話を聞くと、良く仕事できてベテランの教員さんは、定時ですっと帰る。だけど、新人のまだ慣れてない先生方とか、担任を持った先生方というのは、非常に仕事量がどうしても多くなって、勤務時間を超えても頑張らざるをえない環境状況にあるので困っています、どうしたらいいのですかと話がありました。現場ではそういうことがあるようです。</p> <p>働き方改革の一番のポイントは、現場で働かれる先生方の時間のゆとりでしょう。雑多な学校業務に関する事務的なことに追われて、子どもたちと接する時間がそがれていって、時間が足りない、もっと寄り添ってあげたいんだけど足りないという状況です。先生方のやる気、情熱を受けとめるような環境づくりをするために果たしてどういうことを管理職なり教育委員会が提言していけばいいのかということ、もっと具体的に議論してもいいと思います。</p>
教育長	<p>はい。今のご発言に対して、ご自身のお考えでも構いませんし、いかがですか。</p>
委員	<p>今のご意見はごもっともで、非常によくわかります。</p> <p>1つは、昔は、もう少し学級数が多くて、学級・学年全体で結構相談してうまくできた。学年の仕事量は変わらなくて、学級数が減ると、もう2クラスで背負わなければいけない。学級数が減ってきているのも、先生方の負担が増えた1つの原因だと思います。</p> <p>学級数が多かったら、ベテランの先生が何人か必ずおられて、学年全体をうまくリードしていただいて、若い先生方に対しても、ある一定の指導ができたとか、そういうことが可能になってくる。</p> <p>だからそういう学年共同体で、できるだけスムーズにその仕事をこなしていこうとか、或いは学年の行事なんかでも、林間学校とか修学旅行とかいろいろあるけども、その辺の行事でも、ある程度人数があれば人数以上の力が発揮できる。1人だったら1人分しか力を発揮できないというところもある。だから、</p>

行事に対する精選も考えていかなければいけないと思います。

2つ目に、先生の今までの負担から言えば、一番は、保護者対応とか、子どもの教育に直接関係ないところで時間に追われて、メンタル面でも非常に負担が大きくなったりするということで、昨年度も、先生方を支援するチームを作っていたら、何とか校長先生や担任の先生方が問題対応のときに、長時間勤務にならないようにということで、河南町の方でも考えていただいているし、それはいいことだと思います。日頃の先生がたの学級指導の中で、保護者との対応とか、或いは子どもの対応で、トラブルが起こらないようにサポートできるということが大事だと思います。私の経験上、少しぐらい仕事で忙しくても、子どものために頑張るのだったら別にかまわないという先生がいたのですが、メンタル面でダメージを受けた場合には非常に厳しくなって、子どもの指導にも影響してくると思います。

基本は、楽しい学校生活を、先生方も子どもたちも送れる中で、先生方の働き方改革ができれば一番ベストだと思います。

教育長

ありがとうございます。他、いかがですか。

委員

部活に入っている子は夏の時間と冬の時間で下校時刻が違って、夏は下校時刻が遅いので、6時半ぐらいに家に帰って来たりします。

この分は先生方もずっと残業という形です。おそらくクラブが終わって子どもを返してからもうやらないといけない仕事ってたくさんあると思うので、勤務時間を4時50分までとすると、2交代制にするとかしないと、本当に文字の上だけの決まりになってしまうのではないだろうかと思います。

教育長

先生を支援するという意味合いで、気持ち面の支援というのも当然あるし、支え合うというのもありますし、業務実務面で、例えばDXやICTの整備で、デジタル採点支援システムを入れることで、先生の丸付けの具体的な時間が減るという声が聞こえてくる。

そういう先生の生の声をもっと増やしていくことが大事。教育委員会がこんなことをやっていると言ったところで、現場の先生たちが自分たちの働き方は変わってないと言うのだったら意味がないことだし、子どもたちのことを考える時間が以前に比べて増えたという声を聞けるようにしなくてはならないと思う。

その1つがICT環境整備ということで、欠席連絡のアプリもそうだし、学校アンケートは、紙媒体ではなくアプリでいただいています。

そういった部分を少しずつやることで、変えてすぐは慣れない部分もあったりして成果が上がりにくい部分もあるかもしれないけど、続けていくことで成果が上がってくるってこともある。あと、学校からの配布物とかも変わってくるのかなと思いますし、人的な補助として、去年から、教員業務支援員の配置をしています。これについて事務局から説明してください。

<p>事務局</p>	<p>教員業務支援員は週5日・3時間、小学校はそれぞれ2日、中学校は1日行っ ていただいています。学校によってやることは様々なのですが、例えば、 学校で大量のチラシが毎日のように来るのです。それを数えて学年に分けるだ けでもたいへんな作業なのです。そういったことをやっていただいたり、担任 の先生が宿題を出して、テストではない通常の丸付けなんかを依頼したりとい う形で本当に助けていただいています。仕事があるけど、支援員さんが来るか らその日まで置いておこうというような考え方ができるようになってきて定着 してきている形です。</p>
<p>委員</p>	<p>年度初めに学校の組織表を見せていただいて、担任の先生方に、サブの先生 が入っていただいたり、或いは教科を担当していただいたり、ものすごく恵ま れてると思えました。</p> <p>例えば、担任もいないまま新学期がスタートしたというような話を聞くと、 河南町はものすごく恵まれている。先生方が休まれても講師の方がいないとか、 そういう学校がたくさんある中で。それなのにどうして遅くまで残らなければ いけないかという、思うところがあって、教員の仕事は、やればやるほどた まってくるというようなところもある。そこは、先生方の意識を少しずつ変え ていかないといけない。学校全体で先生方の意識化を図っていかなければいけ ないと思います。</p> <p>もう1つは、週に何回か、午後の行事も入れない、職員会議も入れない、研 修会も入れないような、定時で終わりますよ、皆さん協力してください、どう してもの場合は申し出てくださいというような形で、定時で退勤しようという システムを作られてるのか。作ったとしても、最初は割と皆さん守っていただ けるのですが、だんだん、あの約束はどうなったのか、となってしまう。</p>
<p>事務局</p>	<p>定時退庁日は、河南町の学校のでは今のところないです。この曜日はもうな しにしましょう。定時で帰りましょうという決まりを作っている学校はないの ですが、本当はあるべきなのかもしれませんが、なかなか難しいところがあります。</p>
<p>委員</p>	<p>そういうシステムもある程度入れて、その分先生も早く帰っていただいてリ フレッシュしていただくというようなことも大事だと思います。それをやろう 思ったら、全部の先生方の協力がないと難しい。1人でも、今日はどうしても と頼まれたら、仕方ないなということになる。先生方の意識改革もお願いしな いといけないと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>そうですね。それもありますし、先ほど委員がおっしゃったお知り合いの方 のお話は新任の方でしたが、新任の方になると、なかなか初めうまくいかなく て当たり前です、人が30分で終わるところ、1時間かかるということも当 然あるでしょう。河南町にも、今年、新任さんが5名入っています。</p>

	<p>大学を卒業したての人もいれば、他職を経験している人もいたり、様々な経歴を持っていますが、経験年数の浅い先生たちの支援は、河南町でも本当に大事に考えていかなければいけないところだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>あと1つ。部活動支援員という問題は、ここ3年ほど前から、教育委員会の中で出た話で、顧問の先生方の時間的な負担を軽くしようということから始まったと思うのですよ。民間からスポーツ経験者・指導者を支援員として採用しましょうって話だったんだけど、今現在河南町の実態としてこの部活動支援員は、各小学校と中学校で開始されているのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>小学校は部活動がありません。中学校で陸上部の方1名は決まっております。吹奏楽部については、今募集中です。</p>
<p>委員</p>	<p>なるほど、それは何か、採用基準のガイドラインみたいなものはあるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>立場としては、町の会計年度任用職員ということで、臨時の公務員扱いになるのですけれども、特にこの資格を持ってないといけないとか、そういう基準の定め方は難しいので、あくまでも知見を持った方ということで、例えば、今、吹奏楽部の話ありましたけれども、大阪芸術大学の方にお声掛けをさせていただきまして、専門的に楽器などを学ばれている生徒さんなどに来ていただけないかという打診をしたりとか、陸上の方についても、従来陸上を教えておられて知見を持った方ということで、お声掛けをさせてもらっています。</p>
<p>委員</p>	<p>なるほど。それに付随することですけど、元校長などの話を聞くと、非常にやる気があって情熱を持って入ってきた新任の先生方が、2年3年でうまくいなくて退職を余儀なくされるパターンが結構多いということです。</p> <p>せっかく情熱と才能のある方が、よしやるぞ、と入ってきて、いろんな要因があると思うのですが、わずか2年3年で教員を辞めざるをえないような状況に追い込まれる。これは学校にとっても、子どもにとっても残念なことです。</p> <p>1つのヒントなのですが、我々民間の企業では、今大切にしていることは、組織の構成員の評価を見える化しているのです。要するに、営業職、事務職、いろんな職種がありますけれども、Aさん、Bさん、Cさんの評価をリーダーである私が半月ごとに書きます。いい点、頑張らないといけない点をはっきりと書きます。それを全社員が見ることができる体制作りをしていくと、コミュニケーションが非常に活発になったのですよ。わからないことを他の社員さんに対して、この部分弱いから教えてというコミュニケーションがどんどん広がって、チームワークが強くなっていった気がします。お伺いしたいのは、先生の評価は、学校組織においては、校長先生が年に1回ぐらいされるのですか。</p>

事務局	<p>そうです。評価育成面談という形で、最初に目標設定をそれぞれの先生方が申告されてきて、1次評価者の教頭に提出し、2次評価者の校長に提出します。まず目標設定に対して面談をする。途中の進捗状況、最後に評定をつけてお返しする。</p>
委員	<p>それでこの先生は悩みが多いなあ、指摘してもうまく伸びないなあというときに、管理職の校長先生としては、いろんな側面のアドバイスをされると思うのですが、それに対してはどうですか。成長されている先生が多いのですか。</p>
事務局	<p>多分どこの世界でも同じだと思うのですが、素直にアドバイスを聞ける方ほど伸びは早い。自分のやり方に固執してしまうと、どこかで頭を打つこともあるかと思います。</p>
委員	<p>なるほど。会社を経営して46年になりますけど、思うことは、テクニックとかスキルの問題じゃなくて、一番大切なことは、元気の気、気持ちの気、気力の気、気なのです。それぞれの人間の持つ能力を最大限生かすためには、幾らスキルがあっても、意識、それから情熱・覚悟、こういうものがないと育たないのです。学校においても、情熱がある先生だったら、その部分をもっと強く、マインドの部分で、管理職がしっかりサポートしてあげて、先生方を育ててほしいという思いがあります。</p>
教育長	<p>1つの考え方として見える化するためには、お互いの信頼関係がないとなかなかできない。そういう信頼づくりというのは、学校長だけに任されているわけじゃなく、そこで働くみんなが、我が校という気持ちで自分の勤めている学校に愛着を持って欲しい、誇りを持って欲しい。そういう学校の集団づくり組織づくりというのは大事だと思います。人の変化というのは今年大きくあったので、今までは、今までのよさがあるし、でも、新しい人が入ってきたということで、職員も管理職も含めて、新しい風が吹いている。学校現場は頑張ってくれているところを視察でまた見ていただいたらと思います。</p> <p>あとは、学校閉庁日も多めになっています。夏は7連休で、年末年始も同じぐらいだと思います。そういう意味では、先生たちもが夏も冬もゆっくり休めるというのは、もしかしたらこの令和7年度の特徴かもしれない。その辺は有効に使っていただきたいと思っていますし、そんな声かけをまた現場にしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>1ついいですか。気になるのはメールでの欠席届。或いはメールでの保護者からの意見の対応。確かに、今の時代の流れで言うと、保護者も時には楽なときもあるし、いいところはわかるけども、マイナス面が危惧されるところがあっ</p>

事務局	<p>て、例えば、保護者からメールが来たときに、担任が返しをされているかどうかとか。その辺の返しがしっかりしてなければ、課題もある。今まででそんなことはなかったですか。</p> <p>実際私も現場では当初不安でした。メール1本で休みますと連絡が来ます。逆に、何かお話したい保護者さんは電話して下さる。お電話されたら、よっぽどのことなのかなということでもこちらも対応ができるということで、意外に話せる時間が増えた。もちろん1件1件返事はしないのですが、例えば2日続いている子は必ず担任から連絡するとかいう辺りは合理化していますので、1日だけでも気になるお子さんについては担任から連絡とか、本当に話を聞かないといけないというのが浮き彫りになった気はします。</p>
委員	<p>なるほど。そういうふうに、きちっととらえていただいて、対応できているのならいいと思います。</p>
教育長	<p>今後DXを進めていく上で、まず導入段階で、今出たご意見みたいなものは、当然現場の方でも危惧していたと思います。だけど、とにかくやってみないとわからない部分がある。</p> <p>実際やっていく、KANAN BEAM 中の「A」ですけど、とにかくやってみて、改善すべきは改善していったらいいし、やってみたことで、よりわからなかったことがわかるようになったという部分もある。そういう意味では、今日資料を出させていただきましたが、この定着、或いは第2弾、第3弾と、我々教育委員会として何か整備できるものはないのか。そういったことをここでもいろいろご意見いただきながら、学校とも連携しながら、できることを1つ1つ具体的に動かしていくことが必要かなと思います。</p>
委員	<p>先ほどの帰りが遅くなるということについては、いつも最後まで教頭先生が残っておられるわけじゃないし、若い先生が午前様なんかだったら、事故があったときに大変なことになると思うので、教育委員会としても、安全面も含めて、全体的にお願いするような方法でしていただけたらいいと思います。</p>
教育長	<p>今の話はもっともなことですし、そのためにも委員会がありますし、そういったところはやっていきたいと思います。</p>
委員	<p>もう1つ提案したいことがあります。</p> <p>初めて社会人になって教員なった方は、誰でも不安です。どう動いていいか、どう立ち振る舞っていいかわからない状況。仕事量もわからない状況で、新任さんは、メンタル面でストレスがたまります。学校内で、頼れるところがあるという思いを新人さんに持ってもらうことが必要だと思います。校長室に新人教員駆け込み寺って書いていただいて、どんなことでもいい、悩んだことでも</p>

	<p>先輩に聞けないことだったら、もう全部校長に聞いてこいというようなオープンな窓口を校長室においてほしい。昔、自分の部屋を全部ガラス張りにした大臣がいました。そういうような1つの改革もいいのではないだろうか。</p> <p>困った時、先輩に聞きづらい時、気持ち的に折れている時に、ここに行ったら親身になって聞いてくれるというような場所づくりをしてあげたら、非常に心強い味方になると思います。</p>
教育長	<p>そうですね。不安な気持ちをわかってくれる人がいると伝えることも大事。</p>
委員	<p>学級数が少ないのも1つ。まずは、同じ学年の先生と相談したり、悩みを打ち明けたりできれば。</p>
委員	<p>学級定数を下げられないでしょうか。クラスの人数が少なくなれば、担任の数も増えるし、ひとクラスの負担というのも子どもも大人も少なくなると思う。20人学級とか、25人学級とかみたいなことが必要だと思います。</p>
教育長	<p>河南町の場合は統合をします。昔のままだったら、単学級でしたので、統合によって河南町は改善されています。</p> <p>もう1つは、それでも単学級が出てきているので、少子化の波はなかなか止められないでしょう。35人学級に小学校はなりましたが、次は中学校の35人学級、或いはさらに30人学級という議論が出てくるでしょう。調整額云々の議論もありますけど、業務量を減らすか、或いは人を増やすかということもよく言われているので、それは国を絡めての話にはなってくるので、毎年国への要望とか府への要望をしています。</p>
委員	<p>文科省の方で、人数に対する学級数はいくつと法律に則って学級編制がされるのですが、その定数を弾力的に運用してもいいですよというのはありません。</p>
委員	<p>文科省からもらう人は限られてるけども、例えば単費でひと学級を増やしていくことはどうでしょうか。</p>
委員	<p>かなん桜小学校が、最初スタートするときに、6年生のクラス人数を手厚くしてたということもあった。財政的余裕があったら、子どもの教育を充実しようということで、河南町は学級数を20人でいくとかできるのかもしれないが。</p>
教育長	<p>公教育という部分でいうと、地域それぞれの事情があるので、そこはその市町村の単費でクリアしていくとかというのはしかるべきことだと思います。</p> <p>働き方改革については、こども園の方も一緒に考えていく必要があります。働き方改革については、これからも話題にしていきたいと思っていますので、</p>

<p>委員</p>	<p>よろしくお願いします。</p> <p>すいません。1点だけいいですか。 吹奏楽部の指導員の方、大阪芸大にという話、もうすごく素敵だと思います。 学生さんにもメリットがあればいいと思うので、河南町で、指導員のボランティアをすることで認定されるであるとかそういうような大阪芸大ともっとタイアップしていけることがあるのでは。実際、私の職場にボランティアで来てくれる体制の人もいたりするので、芸術ってくらなくて、もっと広い意味で教育に関わってもらえる学生さんがそばにいるというような感覚で連携をとっていけるのではないかと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>参考にしながらまた検討していきたいなと思います。 他にないようですので、次に「(2) その他」に進めさせていただきますが、何か事務局からありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>生涯まなぶ課からご報告です。令和7年7月27日から8月3日に実施する予定でした中学生の海外派遣事業につきまして、事業実施に必要な申し込みがなかったため、中止させさせていただくことになりました。 今後につきましては、中学校において、中学生海外派遣事業についての申し込みに至らなかった件についてアンケートを行いまして、今後の事業実施に向けた検討を行い、次年度に対応していきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>残念ながらそうになりました。集まらなかったから、はい中止という単純なものではなく、追加募集もかけたりしたのですが集まりませんでした。その分析をこれからしていきます。 以上をもちまして本日の議事日程はすべて議了いたしましたので、5月の教育委員会定例会を閉会いたします。 次回開催日は、令和7年6月30日14時からと決まっております。 7月定例会は、7月30日水曜日の13時から開催します。本日はありがとうございました。</p>

令和 年 月 日

教育長名

署名委員名